東京ジャーミイ金曜日のホタバ

２０１２年2月 10

イスラームのテロや分裂に対する見方

親愛なるムスリムの皆様

人は集団の中で生きる存在です。集団で生きる人々の間で安らぎや幸福が維持されるためには、個人がその権利と責任を知り、それらを果たすことが必要です。集団の安らぎと幸福をおびやかす要素の最たるものとしてテロと分裂があります。

テロは周囲を恐怖に陥れ、ひるませ、脅かし、殺害し、傷つけ、破壊することによって人々の財産、生命、名誉といった物質的・精神的な価値のあるものが危険な状態であると信じさせ、安全性を根底から奪うことです。

世界を覆う戦争、分裂、テロ活動、暴力を含む動き、無実の人々の死、消されてしまった何千もの家庭、身寄りのない、なすすべもない子供たち、テロの犠牲となる女性たち、老人たち、物質的・精神的な損害が、宗教的・歴史的に私たちの遺産となりました。イスラームの教えは、現世と来世の生を救うこと、人が彼自身と、創造主と、そして周囲と調和して生きること、永続的な安らぎや幸福を手にすることを目的としているのです。

これを実現するため、人を単に信仰と崇拝行為の基本へと方向づけるだけにとどまらず、公正さ、正しさ、正直さ、敬意、助け合い、悪い習慣の放棄、自分の求めるものを兄弟のためにも求めること、そして彼を愛することといった基本的徳を人の生き方に浸透させようとしているのです。

あらゆる教えは、人々を平和と安全、そして友情のうちに生きること、権利や法に敬意を払うことへと招いています。個人そして集団の安らぎを目的とし、崇高なるアッラーが人類に最後の救いへの処方箋としてくださったイスラームの教えは、平和、友情、そして安らぎの教えです。どのような形であれ決して、テロや分裂を認めてはいないのです。統一、共存、そして平和のうちに生きることを命じているのです。

預言者のハディースからいくつかの例を挙げたいと思います。「ムスリムとは人々が、その手や舌について安心感を持っている人のことである」「ムスリムは、ムスリムの兄弟である。彼を迫害しない。彼を裏切らない。嘘をつかない。そして彼を苦しいままでほうっておかない。ムスリムにとって他のムスリムの血、生命、名誉、そして財産ははらーむである。篤信はここ（心）にある。人がムスリムの兄弟を蔑視することは、彼に対する悪しき振る舞いとして十分である」

親愛なる兄弟姉妹の皆様。アッラーはクルアーンで次のように命じられています。「.あなたがたはアッラーの絆に皆でしっかりと縋り、分裂してはならない』（イムラーン家章第 103 節）「だが信者を故意に殺害した者は、その応報は地獄で、かれは永遠にその中に住むであろう。アッラーは怒ってかれを見はなされ、厳しい懲罰を備えられる。」（婦人章第 93 節）

平和や愛情のない場には安らぎや豊かさ、恵みは存在すべくもありません。預言者アーデム以来遣わされたすべての預言者は平和を奨励しました。神の教えの全ては平和を命じました。子供たちを、若者たちを分裂やテロの災いから守り、正しく教えていくことは私たちの最も大切な役目です。この点では皆に責任があります。クルアーンでは人類に平和を勧める節が１５０あります。崇高なるアッラーはクルアーンで次のように仰せられています。「あなたがた信仰する者よ、心を込めてイスラーム（平安の境）に入れ。悪魔の歩みを追ってはならない。本当にかれは、あなたがたにとって公然の敵である。」（雌牛章第 208 節）

発展や幸福の道は、テロや分裂ではなく、統一、共存、愛情にあるのです。

アッラーが私たちをテロやあらゆる不和から遠いしもべとしてくださいますように。共存、平和、秩序が破壊されることがありませんように。